

令和4年第21回 議会運営委員会 会議結果

(第4回定例会閉会日) 令和4(2022)年12月16日(金) 11:00~11:14 第1委員会室

《出席者》永井 委員長(兼 公明党代表)、清水 勇 副委員長(兼 会派きぼう代表)、
清水優一郎 委員、竹村 委員、小林 委員、木下 委員、熊谷 委員(兼 新政いいだ代表)、
原 委員(兼 会派みらい代表)、井坪 議長、山崎 副議長、古川 委員外議員(日本共産党代表)

【○説明事項、□意見、★確認・決定事項、◎会派検討依頼事項】

1 閉会日の日程について

★説明のとおり決定

○日程第1及び第2は、所定の手続きによるもの。

○日程第3では、リニア推進特別委員長から経過報告を、また、総務委員長から請願案件の審査結果の報告を行う。

○日程第4は、議案審議。(1)から(4)までは、各常任委員会に付託した議案の審査結果に基づく委員長報告を受けて、質疑、討論、採決を行う。これらの議案に関しては特段の意思表示等なかったため、飯田市議会会議規則第76条の「簡易表決」にて決定を行う。

○日程第5は、閉会中の継続審査の申し出。総務委員会とリニア推進特別委員会からの申し出を確認する。

○日程第6は、議員派遣。

2 令和4年度管外視察のまとめについて

★説明のとおり確認

□委員会代表質問について、各委員が大切に捉えており、前向きな意見もあることから、地方自治法に基づき、当議会において実施を目指して研究していくことを議長から議会運営委員会に対して諮問したい。

★議会運営委員会として諮問を受けることとするが、諮問に対してどのように対応するかについては、議会運営委員会の正副委員長の預かりとする。

□委員会代表質問に関しては、現場を担う委員長の意見も必要であることから、議会運営委員会での検討と合わせて委員長会でも検討していきたい。

3 その他

★当面の日程について確認

○定例会の反省等について協議するため、令和5年1月13日の午後1時30分から自律的

な議会運営委員会を開催する。会派まとめ、委員会まとめは文書により12月23日までに事務局へ任意の書式で電子データを提出する。

- 令和5年第1回定例会の告示議運を、2月15日の午前10時から第1委員会室で開催する。

<議会への未提出案件その他の不祥事に関する執行機関側の対応について>

- 12月末までに議会への回答を求めており、先日正副議長に報告があったが、受け入れられない内容であったため再度の検討を求めた。
- その結果12月中の回答が間に合わないこととなったが、所管である総務部には内容を整えて提出するよう指示をしたので、各会派と各委員会でご承知おきいただきたい。
- 6月に議会から執行機関側に出した意見としては、民間企業等で行っている原因究明の「なぜなぜ分析」を実施した結果を返してほしいとのことだったが、今回執行機関が提出したものは、その実施が不十分であった。
- 真の原因が究明されない限り、正しい分析が立てられないというのが「なぜなぜ分析」の基本的な考え方であり、今回提出された内容では深掘りがなされておらず不十分であった。
- 執行機関側からの回答は現場の生の声が反映されておらず、通り一遍の釈明文であり納得できない内容であった。

<通年議会について>

- 地方議会評価モデルの経過、四日市市議会への視察、江藤先生からのアドバイスなどをふまえて、検討研究に入ることを提案し、扱いは議会運営委員会の正副委員長に任せたい。

★通年議会の検討研究は、要望意見として議会運営委員会が承る。

以上